会長新春あいさつ

▲田中嘉治日本のうたごえ全国協議会会長

読者のみなさま、新年あけましておめでとうございます。

昨年11月29日～12月1日に2024日本のうたごえ祭典in佐賀が開催され、特別音楽会2千人、大音楽会4千5百人、合唱発表会とオリジナルコンサート参加4千人と併せのべ1万5百人が結集して成功裡に終えることができました。とりわけ佐賀の大奮闘と祭典を物心両面で支えていただいた全国の皆様方にあらためてお礼申し上げます。

「五つの止」は一層深刻

昨年の世相を一文字であらわす恒例の「今年の漢字」が発表され、「金」の文字が選ばれました。

「金」は五輪開催の年に過去4回選ばれており、今回5回目。その理由も過去と同様に五輪で日本人選手などの活躍を讃えるとした光の「金」と、今回は裏金問題など影の「金」の意味が含まれています。国会答弁で石破首相は、総選挙での審判を受けてもなお、裏金解明に向き合わず、嘘とごまかしで逃げ通そうとしています。

この裏金政権のもと、2年連続で実質賃金の低下が止まらない一方、大企業の純利益の総額は3年連続で過去最高。片や高齢者の多くは、年金不足と老老介護で貧困化、若者は低賃金や非正規雇用の増大での貧困化。約2千万人が貧困ライン（世帯年収127万円）以下での生活を余儀なくされているといわれています。

いまこそ大企業の内部留保を活用した賃上げの実現をはじめ教育、就労、生活に関する支援や改善が急務であり、青年の要求を実現できる政治の転換が求められています。

運動80周年に向かう

毎年方針に掲げている「五つの止」（戦争法、辺野古新基地建設、原発、核兵器、9条改憲）は、今日、一層切実さと深刻さを増しています。

■この間、政府は、集団的自衛権行使容認、専守防衛の放棄、敵基地攻撃能力保有等、戦後の歴代政権が「平和国家の理念」としてきたものをことごとく投げ捨ててきましたが、ついに、次期戦闘機など殺傷兵器の輸出解禁にまで踏み込む事態に。防衛省は25年度概算要求で過去最大の8・5兆円を計上。その中にはイスラエル製の〝自爆〟ドローン310機の取得費（30億円）を初めて計上、ガザ虐殺に事実上、加担する姿勢を露わにしたのです。

出発（たびだち）へのヘビー級の一歩を

■全世界に大きな感動を呼び、核廃絶の希望と決意、さらに日本政府への批判にも言及した日本被団協の田中熙巳代表委員の演説。その翌日、林官房長官は、「核抑止の立場は今後も変わることはない」と発言。日本の恥ずべき姿をさらけ出しました。

■政府に原発新増設や再稼働の要望書を提出しているのは与党・自民党のみならず国民民主党も。その背景も瓜二つ。原発推進に対し、自民には年間6億円の企業献金、国民民主には電力会社の労働組合（電力総連）の政治団体から巨額の献金をしていたことが発覚。

「先進国は30年までに石炭火力の段階的廃止」を求めた国連決議に対して、日本だけがG7で唯一、石炭火力からの撤退期限を示しておらず、原発最大活用の計画に固執しています。いまこそ、大軍拡や原発をやめさせ被災地支援に手厚い政治に刷新すべき声を一層大きくあげるときです。

神戸・ひょうご祭典を地元・全国の力で成功させよう

（祭典の概要は、㊨かもタン参照。うたごえは全国で多くの人たちと集い歌い交わすことを常に経験していても、「祭典」ほど劇的に夢を追いかけ、人と人との結びつきの輪を飛躍的に広げる場と機会はありません。なぜなら祭典に取り組む人たち、また、祭典にやって来る人たちは、みな「夢と希望を音楽という衣で纏いながら行き交う旅人」のような存在だからです。うたごえ運動にとって、祭典をつくる原動力となっていくのは「人」であり、いかに同じ方向をめざす多くの旅人をつくるか。そのうえに大切なことは、夢をつくる魅力的な企画力と保障となる組織力です。

そして歌う歓びに満ちた活動を展開していくことが強く求められます。

運動80年に向けての夢づくり

今年は巳年。蛇は、皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わることから、巳年は新しい挑戦や変化に対して成長の年とも解釈されています。

いまうたごえは運動80年となる2028年に向け、来年の長野から大阪、そして東京（検討中）へと続く日本のうたごえ祭典の夢づくりに着手し始めました。自由と平和と希望の力を積み上げる「うた」を高鳴らせ、夢を広げながら、運動80周年に向かう出発（たびだち）へのヘビー級の一歩を踏み出して行こうではありませんか。

被爆、戦後80年祈念―

祭典in神戸・ひょうご

つなげよう！ 希望の歌

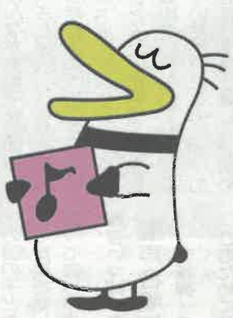
2025日本のうたごえ祭典in神戸・ひょうご（11月22日(土)～24日(月・祝)）へ

兵庫五国アレソレ音頭 ①

2024年の佐賀からバトンを受けて祭典は2025神戸・ひょうごへ。本紙連載も佐賀の「佐賀の風だより」から「兵庫五国アレソレ音頭」がスタート。兵庫は五つの国からなっているのですね。連載第1回は、その兵庫、今祭典概要、案内するのは祭典マスコットの〝かもタン〟、どうぞ。

■ボク、かもタンです!!

ボクは、亡くなられた石ノ森章太郎先生の手によって1990年日本のうたごえ祭典in神戸のときに、「かもめ」をイメージした祭典マスコットとして生まれたんだ。そして今回、35年ぶりに開かれる日本のうたごえ祭典in神戸・ひょうごで、「帰ってきたかもタン」として再び、みなさんとお会いすることになったよ。



かもタンイラストはすべて©石森プロ

企画3本柱

■企画の3本柱　A〈阪神淡路大震災30年〉・B〈非核神戸方式（〇核兵器積載艦艇の神戸港入港拒否に関する決議）50年〉・C〈被爆・戦後80年〉

★大音楽会では、A企画「阪神大震災鎮魂組曲1995」を初めて計上、ガザ虐殺に事実上、加担する姿勢を露わにしたのです。

Queen,s Tears Honey HARUさんに聞く

（1面のつづき）

山で出会った男性ボーカルグループ。生の声には惹かれたが、そのグループから抜けたメンバーの助っ人を頼まれた時はまだ「歌より楽器（サックス）」だった。が、「彼らの音程が気になり」入ってしまう。練習を重ねると、発表したい、となり、三木市のデイジージャズ喫茶で演奏。店のマスターは若い人たちを応援したいと、まつりなど演奏の場を提供してくれた。

そして、〝Queen's Tears Honey〟と出会い、12年。年間200回の公演はコンサート、パーティ、シャンソン、時にはクルージングで。船旅では朝のうたごえ喫茶から始まるときもある。伴奏楽器はグループの声。船上コンサートもピッチパイプ一つで自在に声の楽器で伴奏する。

▲QTハニーのステージより

神戸らしいスタンダードも

今年は阪神淡路大震災30年、祭典コンセプトの一つ。その震災にHARUさんは三木市で遭遇。まだ、幼い頃だったが、強い揺れ、屋根の瓦が落ちていくのを覚えている。神戸からたくさんの子が三木市に転校してきて友だちが増えた。

「1・17に近い公演では追悼式やルミナリエの話題と曲をステージで披露しています。震災は忘れてはいけないけれど聴く人の心の重荷にならないよう歌っていきたい」と言う。

そんなHARUさんの今年の抱負は、「歌声もお話もなまってしまわないように、一回でも多くみなさんの前で歌いたいです」。

日本のうたごえ祭典では、「聴き馴染みのある昭和歌謡や、神戸らしいスタンダードもお届けできたらなと思っています。大音楽会は今年できた新しい会場との事なので、みなさんと楽しいひとときを過ごせる事を楽しみにしています」。

季刊「日本のうたごえ」No.206

「ゾウ列車」が走って75周年

合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」運動

●「ゾウ列車」が走って75周年「ぞうれっしゃ…」運動特集 寄稿（藤村記一郎）他

●2024年日本のうたごえ祭典in佐賀へ 取材歓高響子さん、寄稿（高田龍治）

●ダニー・ネフセタイさん（元イスラエル軍兵士、平和活動家）

●連載 石黒真知子（ポエム&エッセイ）

●楽譜紹介

「忘れないよ」　女声（同声）2部合唱（石黒真知子:作詞、武義和:作曲）

「わたしの地球」　（石原一輝:作詞、長森かおる:作曲）

515円　発行　日本のうたごえ全国協議会

申込み・問合せ先　☎03-3200-0106　メールinfo@utagoe.gr.jp

婦人民主クラブ
婦民新聞
〒151―0051東京都渋谷区千駄ヶ谷三―二―八 第12宮庭ビル三〇三号
☎〇三（三四七八）二三一七
FAX〇三（三四七八）二三一八

地元に愛され続けて一一二年
創業大正二年　小林久間吉豆腐
〒112―0006東京都文京区小日向三―七―三
☎〇三（三九四一）二五三五

世界各地で合唱交流を
㈱ユーラストラベル
〒108―0023東京都港区芝浦3丁目一七―一一
☎〇三（六四五三）六六三三　FAX〇三（六四五三）六六三〇
y.takizawa@curas.co.jp

理念を活かした旅づくり
株式会社　富士国際旅行社
〒231―0062神奈川県横浜市中区桜木町一―一―七 ヒューリックみなとみらい11階―四
☎〇四五（二二一）二二〇一
FAX〇四五（二二一）二二〇一

株式会社日本旅行広島支店
〒732―0056広島市東区上大須賀町一六―一 JR広島駅西部高架下1階
☎〇八二（二六一）五二四三

あかつき印刷株式会社
代表取締役社長　大久保　豊
〒151―0051東京都渋谷区千駄ヶ谷四―二五―一一
☎〇三（三四九七）〇五三一

2025日本のうたごえ祭典
in神戸・ひょうご
祭典事務局〒652-0882　神戸市兵庫区芦原通2-1-23
☎078・686・7331　FAX078・686・7332、✉ hyogoutagoe@gmail.com

―阪神淡路大震災30年、非核神戸方式50年

2025日本のうたごえ
山と海から、未来に

95年1月17日（原詩／森村誠一）より抜粋2曲を作曲の池辺晋一郎さんの指揮で。神戸の小中学校で歌い交わされている「しあわせ運べるように」を作詞・作曲の臼井真さん（**群12面**）の指揮で「群青」とともに歌うんだ。

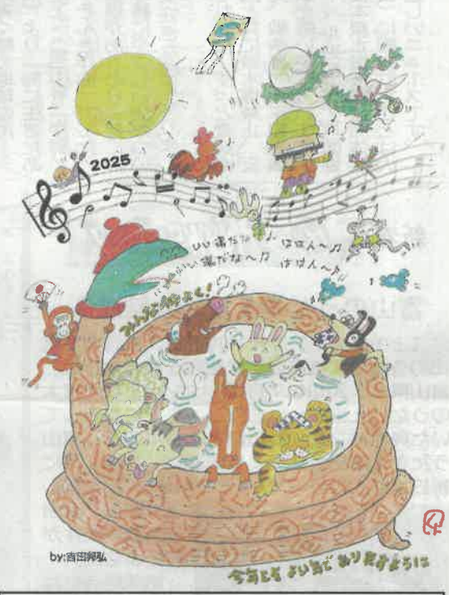
B企画は、決議文そのものに作曲したきたがわてつさんによる「みなと決議」の独唱、そしてB企画のテーマ曲「波よ　ひろがれ」（詩／小森香子　曲／きたがわてつ　編曲／信長貴富）の大合唱。

C企画は、「被爆80年記念ソング」のほか、浅井敬壹さん指揮で「大地讃頌」「夕焼け」を全国合同曲として。他にも全国合同曲として池辺晋一郎の指揮で歌う「新世界」、池辺編曲による「さくらさくら」「ふるさと」「全国女性合同、全国シニア合同、全国青年合同、全国スクラム・保育合同等々あるよ。

特別音楽会
新実徳英、桂雀三郎さん…

★特別音楽会では、新実徳英さんの指揮で歌う「荒木栄ニューアレンジ三部作」（編曲／池辺晋一郎、新実徳英、寺嶋陸也）。アカペラ発祥の地〝神戸〟で生まれた女声7人のグループのQueen's Tears Honey（今号1、6面）。幅広いジャンルを全て『アカペラ』で演奏。楽器の音もボイスパーカッション）で。とにかくすごーい。

対照的なのは、関西風味丸出しの桂雀三郎withまんぷくブラザーズ。焼肉屋の食べ放題をテーマに歌い上げたコミックソング「ヨーデル食べ放題」（曲／リピート山中）が大ヒット。



現在JR大阪環状線・鶴橋駅の発車ソングにも。涙と笑いの舞台！　乞うご期待です。

和太鼓と民舞・民謡のまつりも

★全国・兵庫県和太鼓と民舞・民謡のまつりではゲストに石見神楽6頭の大蛇舞で、大蛇が舞台狭しと火を噴き暴れまわる大迫力に圧倒されるよ。全国郷土合同曲として吟遊打人・塩原良さんに作調委嘱した「日本満開だんじり囃子」も太鼓と踊りのコラボで楽しめるよ。

■旧五国同盟の県

兵庫県は、暖国オリーブの花咲く淡路島と、雪の但馬とを南北にひかえ、また、甲子園や宝塚で有名な阪神地域から、150万都市・異国情緒漂うオシャレの街神戸、世界遺産で国宝級の姫路城を擁する播磨までの東西に広がる地域なんです。このように旧国である摂津・播磨・但馬・丹波・淡路という五国もの個性が集まった県は、日本中で兵庫だけなんだ。これこそ、ひと呼んで兵庫五国連邦＝兵庫県なんです。

歴史も風土も文化も異なる個性豊かな五国の県内各地から、多様性に富んだいろんな歌の風が吹き渡ってきます。これから1年間、「人」を介して「夢とロマンの風」を起こしていきますので、どうぞ全国の皆様方のご支援ご協力を心からお願いしマンモス。いや違った！　お願いするカモメ。

2025日本のうたごえ祭典in神戸・ひょうご
日程・会場

■11月22日（土）
全国・兵庫県和太鼓と民舞・民謡のまつり
（神戸文化ホール大ホール）
合唱発表会（神戸市内4会場）
■11月23日（日）特別音楽会
（神戸文化ホール大ホール）
合唱発表会（神戸市内4会場）
■11月24日（月・祝）大音楽会
（ジーライオン・アリーナコウベ）

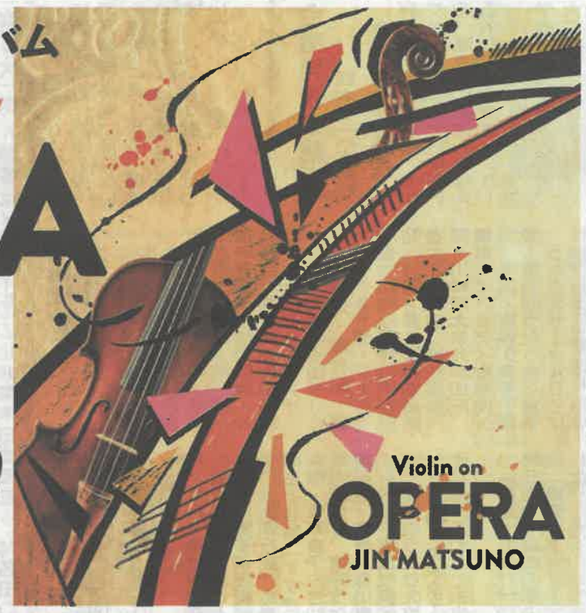
阪神・淡路大震災30年メモリアル
「鎮魂と再生のメッセージ」

わが街よ永遠にコンサート

1月19日(日)14時　垂水区文化センターレバンテホール

阪神大震災鎮魂組曲「1995年1月17日」作曲の池辺晋一郎氏、「しあわせ運べるように」作者の臼井真氏を迎えての両曲演奏等で行う。プログラムは他に、池辺氏の記念トーク、演奏は和太鼓―太鼓衆団輪田鼓、民舞「風の輪」、青年太鼓「かがり火太鼓」。合唱は女声コーラスゆずり葉、日本の童謡をうたう会。2000円（中・高・大学生1500円。小学生・障がい者1000円）☎078・672・1015、✉kobe@center-choir.jp

松野 迅 ニューアルバム
Violin on OPERA ヴァイオリン・オン・オペラ
ヴァイオリン、オペラを歌う
ことばを用いない物語、オペラ仕立てのストーリーが展開する器楽のアルバム。独奏ヴァイオリンが声楽と器楽の境界をボーダーレスへと昇華。



定価 本体価格 2,700円＋税
品番：CCD964
JANコード：4-523810-004977
松野迅の情報 音楽センターHP

CD 収録曲
01 02 03 ルイ・シュポーア オペラティック・コンチェルト
ヴァイオリン協奏曲第8番イ短調作品47〈劇唱の形式で〉
04 W.A.モーツァルト アダージョ K.261
05 C.グルック=F.クライスラー編 精霊の踊り（メロディ）
～オペラ「オルフェオとエウリディーチェ」第2幕より
06 M.de.ファリャ=F.クライスラー編 スペイン舞曲 第1番
～オペラ「はかなき人生」第2幕より
07 F.クライスラー アンダンティーノ
08 O.レスピーギ 朝の歌
09 V.ベッリーニ 清らかな女神よ（カスタ・ディーヴァ）
～オペラ「ノルマ」より
10 J.マスネ タイスの瞑想曲 ～オペラ「タイス」より
11 A.アレンスキー セレナーデ
12 G.ガーシュウィン=J.ハイフェッツ編 そんなことはどうでもいいさ
～オペラ「ポギーとベス」より
13 信長貴富 きらめく五月よ、そよぐ大樹よ
14 瀬越憲=松野迅編 すみれ

音楽出版事業に応援を　株式会社音楽センター 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-16-36　TEL 03-3200-0101　FAX 03-3200-0104　HP https://www.ongakucenter.co.jp　E-mail info@ongakucenter.co.jp